

7月豪雨  
復興研修会

# よりよい 復興のひろば



第5回 寄り添い方を考える

2026年2月27日(金) 18:00~19:30  
(17:40 開場)

ミライニ3階 研修室 + オンライン  
(酒田市幸町 1-10-1) (Zoom)

山形県を中心に大きな被害をもたらした令和6年7月豪雨災害の発生から、1年半が経過しました。このたび、宮城大学「災害発生後の支援・交流拠点の開発」研究チームでは、酒田市役所の協力のもと、令和6年7月豪雨で被災した皆様を対象とした「災害発生後の支援・交流拠点に関するアンケート調査」を実施しました。そこで今回の研修会では、アンケート調査の結果を報告するとともに、被災された方のニーズに寄り添う方法について考えます。

## 内容 (予定)

- ◇被災された方の居場所のニーズ (熊本地震応急仮設団地における調査結果との比較)
- ◇被災された方の相談支援のニーズ (コミュニティセンターにおける拠点形成の課題)
- ◇災害時の生活拠点形成のあり方 (東日本大震災における民間組織の役割と現行の都市計画制度)

## 報告者

小地沢将之 (宮城大学教授/日本建築学会東北支部地方計画部会長)

足立千佳子 (宮城大学大学院/日本建築学会東北支部地方計画部会幹事) ほか

- 参加無料 (寄附金付きチケットあり)
- 復興や防災に関心のある方であれば、どなたでもご参加いただけます。
- お申込みは下記サイトもしくはQRコードからお願いいたします。

<https://bbb5.peatix.com>



しょうない復興ステーションは下記の体制で運営しています。

企画・運営 : 宮城大学小地沢将之研究室, 特定非営利活動法人コミュニティ

協力 (会場提供) : 酒田駅前交流拠点施設ミライニ

協力 (情報提供) : 酒田市, 遊佐町

協力 (研修企画) : 日本建築学会東北支部地方計画部会



しょうない  
復興ステーション